

2021年8月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

企業からの折り返し連絡が待てる期間「3日以内」が6割
応募から内定までの期間「1週間以内」を想定する人は6割超

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2021/08/01～2021/08/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2021/08/02～2021/09/05(35日間)

調査方法

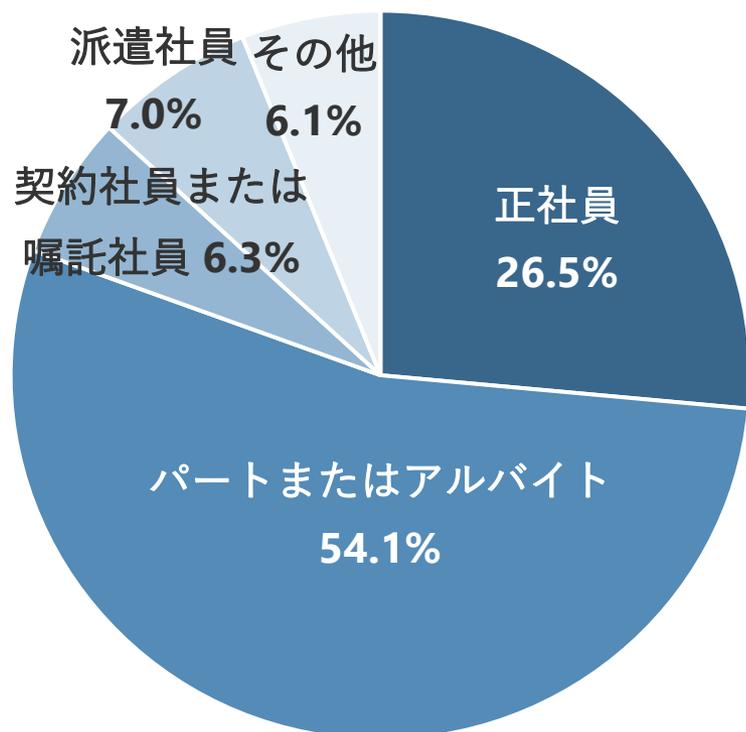
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

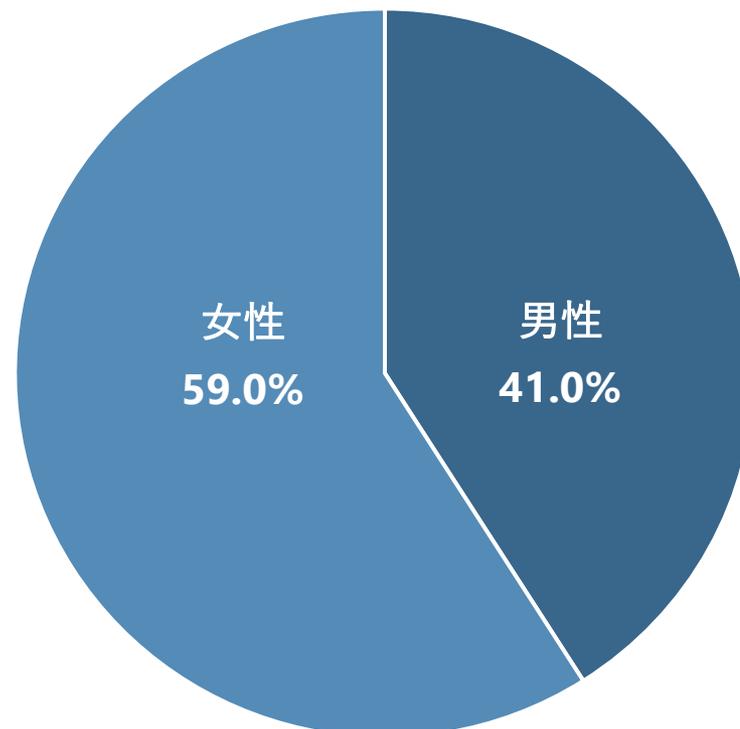
- ▶427件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



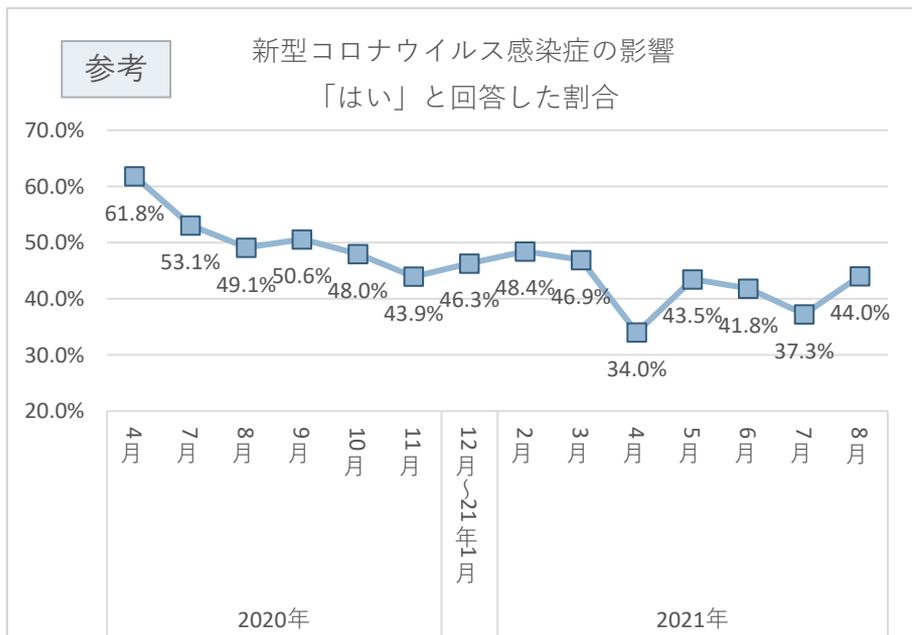
性別



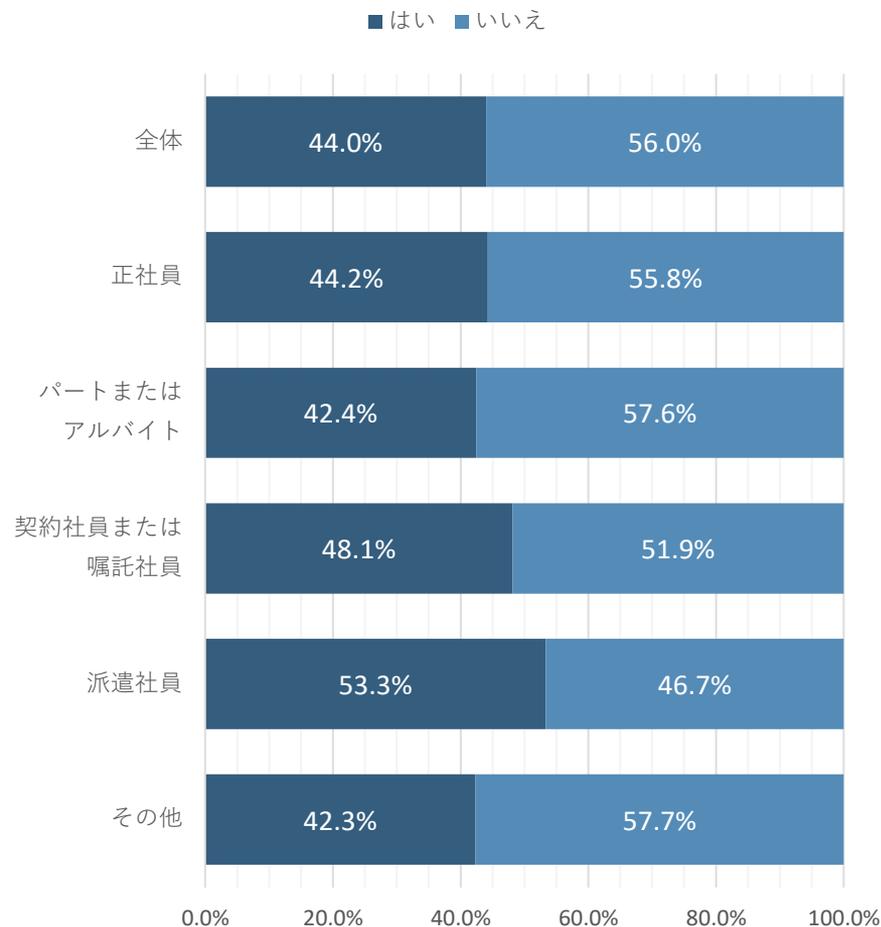
イーアイデムから求人に応募した人に、今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかきいた。

全体で44.0%が「はい」と回答し、4割超の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。2020年4月以降徐々に割合は減少してきているが、今年度で最も高くなった。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「はい」は「正社員」では44.2%となり、全体数値とあまり変わらなかった。「派遣社員」では53.3%となり、半数以上が感染症の影響で仕事探しをしていることがわかった。



今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

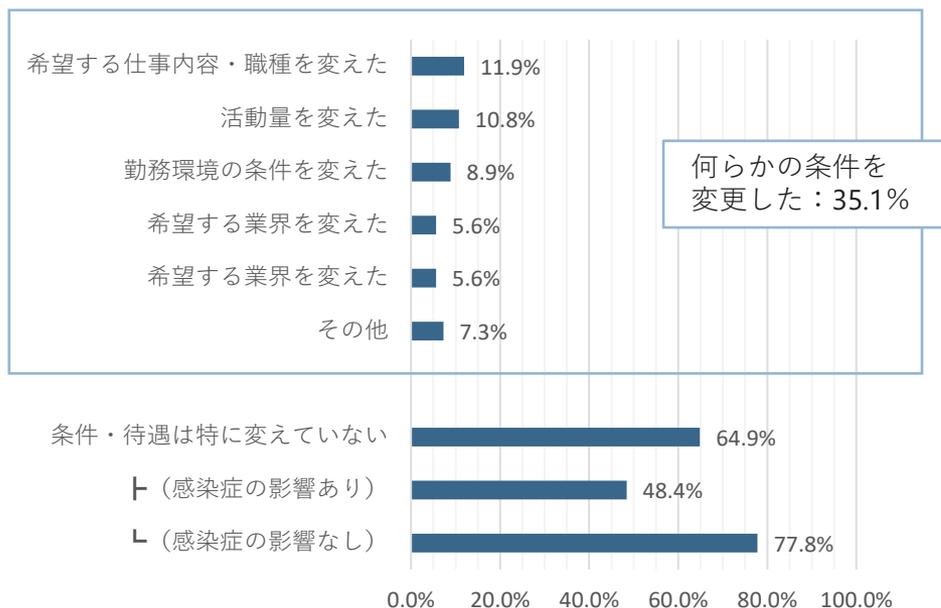


イーアイデムから求人に応募した人に、新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかをきいた。全体では「何らかの条件を変更した」35.1%、「条件・待遇は特に変えていない」64.9%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が6割超となった。

「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「希望する仕事内容・職種を変えた」で11.9%、次いで「活動量を変えた」で10.8%、「勤務環境の条件を変えた」が8.9%となった。自由意見では、今の仕事希望のシフトほど入れないため、不足分を補うために活動しているという声いくつかあった。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人となない人を比較した（P4参照）。「感染症影響あり（『はい』と回答/以下同）」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が48.4%で、「感染症影響なし（『いいえ』と回答/以下同）」（77.8%）より29.4pt低くなっており、半数近くが目にする条件・待遇を見直したと回答した。

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？（複数回答）



見直した条件

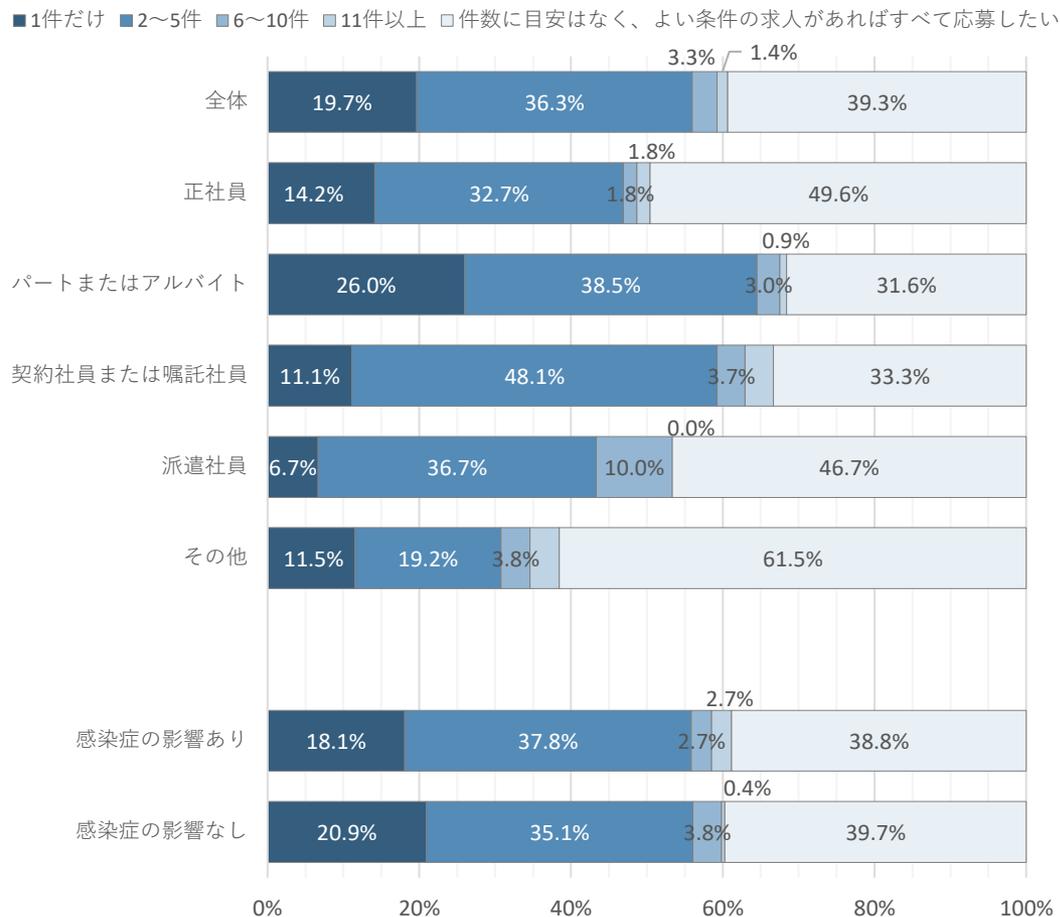
希望雇用形態	性別	年齢層	自由意見
正社員	女性	40代	出張ありの現職から、無さそうな職種に変えた。景気の上下によりあまり左右されない業界に変えた。
パートまたはアルバイト	女性	40代	医療事務や薬局事務を希望していますが、なかなか採用されないため、一般事務も検討し始めました。
正社員	女性	40代	移動距離が短い（自宅近郊）ところで探すようになった。正社員希望だが、勤務地優先で正社員でなくても応募している。
パートまたはアルバイト	女性	50代	希望する職種での募集はシフトが希望ほど多くなく、週4で1日4～5時間しか入れない。
パートまたはアルバイト	女性	50代	派遣で働くには、条件が変わってきている。特に介護系は、難しくなって希望の時間帯に入れなため違う職種も考えた。
派遣社員	男性	60代	65才まで公務員をしていたので何が自分に出来るかわからないので何でも挑戦したいと思います。

イーアイデムから求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「よい条件の求人があればすべて応募したい」が最も多く39.3%、次いで「2～5件」が36.3%、「1件だけ」が19.7%、「6～10件」が3.3%、「11件以上」が1.4%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は約8割となり、多くの人が複数応募を前提に活動している。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合は約半数の49.6%となった。「パートまたはアルバイト」では「1件だけ」が26.0%で、正社員希望者よりも10pt以上高かった。

仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症の影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症の影響なし」と回答した人は「感染症の影響あり」と回答した人よりも「1件だけ」の応募を検討する割合が若干高かった。また、「感染症の影響あり」と回答した人の方が、「11件以上」を選んだ割合が高かった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

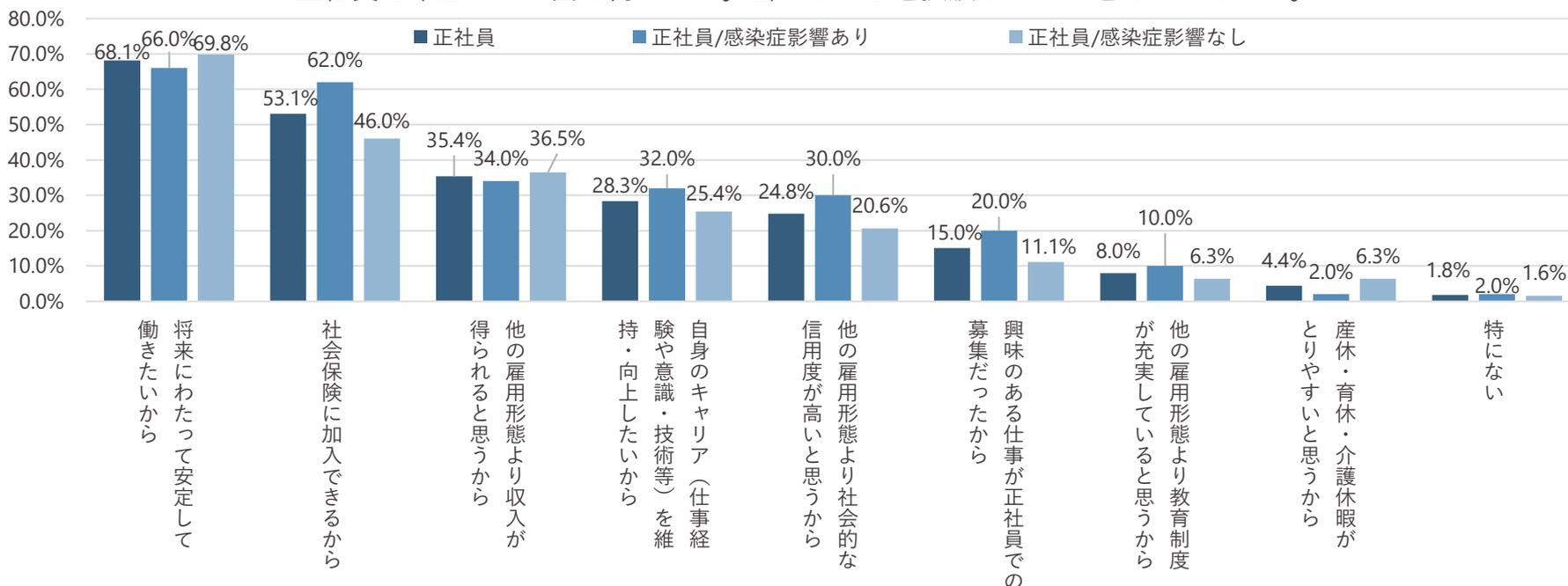


イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」で68.1%、次いで「社会保険に加入できるから」が53.1%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が35.4%となっている。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関連をみると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「社会保険に加入できるから」で16.0pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」で9.4pt、「興味のある仕事为正社員での募集だったから」で8.9pt高くなった。特に社会保険加入について差が大きく、社会的信用に加え、社会保障も手厚くしておきたいという気持ちが表れている。

一方、「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「産休・育休・介護休暇が取りやすいと思うから」で4.3pt高かった。休暇に関する福利厚生面で正規雇用の方が利用しやすいと考える人が少なからずいることがわかる。「感染症影響なし」の方が5pt以上高くなった項目はなかった。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



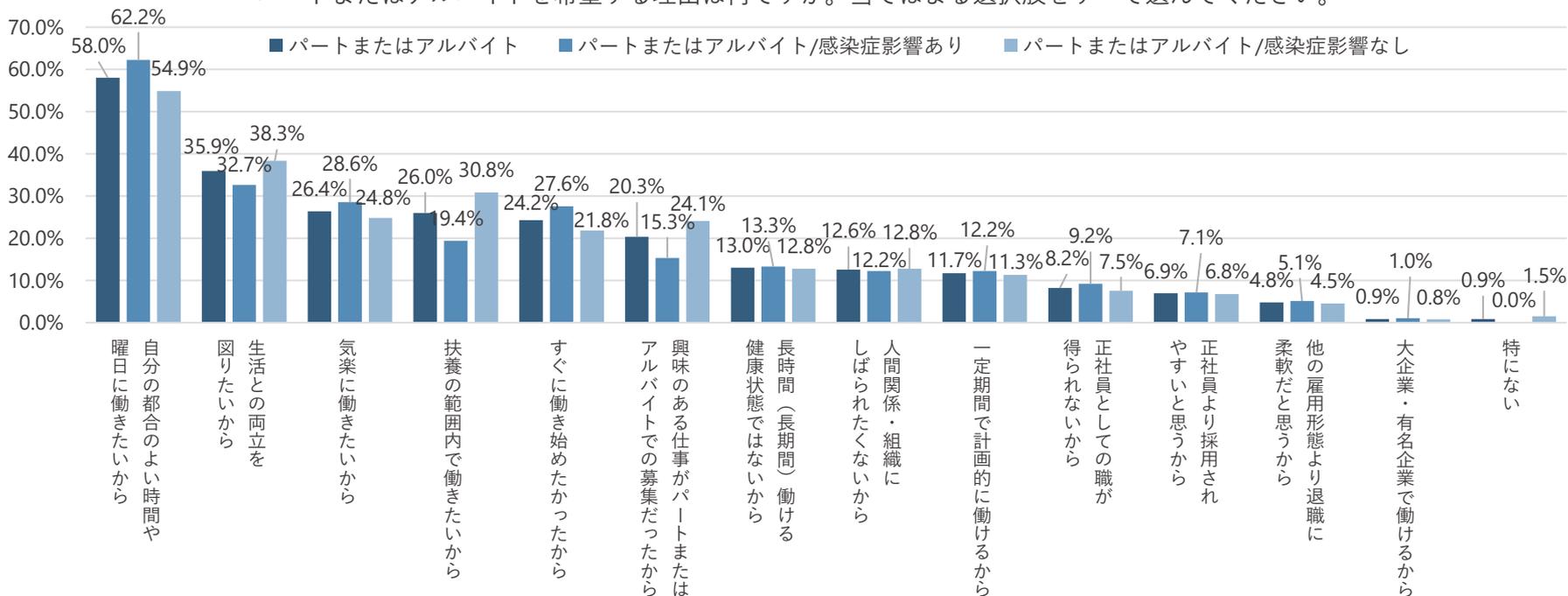
イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかを聞いた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合の良い時間や曜日に働きたいから」で58.0%、次いで「生活との両立を図りたいから」が35.9%、「気楽に働きたいから」が26.4%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人と比べて、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」は7.3pt、「すぐに働き始めたかったから」は5.8pt高くなった。今の生活の中で仕事に割ける時間を有効利用したい、取り急ぎ仕事に就きたい、といった時間に関する項目で回答が集まった。

「感染症影響なし」の人は「感染症影響あり」の人よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が11.4pt、「興味ある仕事パートまたはアルバイトでの募集だったから」が8.8pt高くなった。決められた範囲の中で働いて、好きな仕事に就きたいと考える人が多い傾向にあるようだ。

なお、「正社員としての職が得られないから」「正社員より採用されやすいと思うから」といった、他の雇用形態と比較してパート・アルバイトを選んだ人は少なく、感染症の影響の有無に差はみられなかった。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



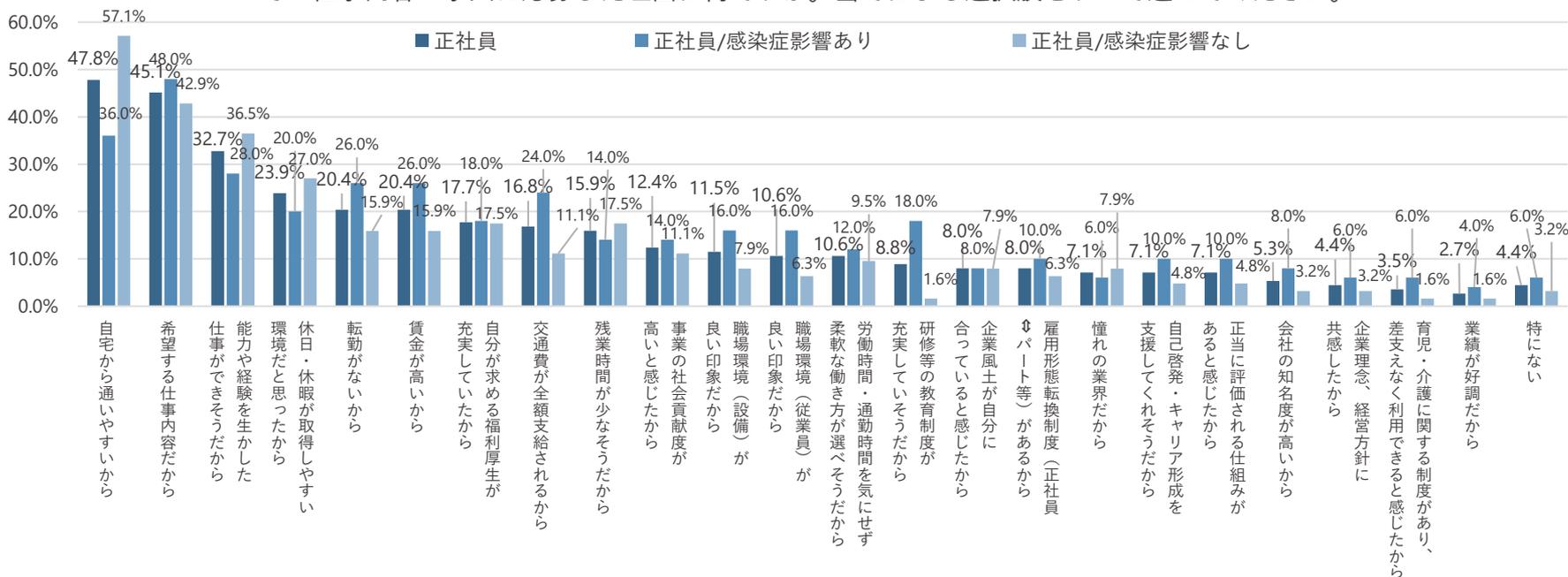
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」の47.8%、次いで「希望する仕事内容だから」が45.1%、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が32.7%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）との関係を見ると、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「研修等の教育制度が充実していそうだから」が16.4pt、「交通費が全額支給されるから」が12.9pt、「転勤がないから」が10.1pt高かった。教育制度に関しては「感染症影響なし」の人は1.6%で少ない。「感染症影響あり」の人は今までの経験とは異なる業界、職種を選ぶことも少なくなく、たとえ異業種や未経験職種であっても教育制度がしっかり整っていることが応募理由として大いに関連していることがわかる。

「感染症影響なし」の人では、「感染症影響あり」の人よりも「自宅から通いやすいから」が21.1pt、「能力や経験を生かした仕事ができそうだから」が8.5pt高かった。「自宅から通いやすいから」を選んだ人の中には、通勤時間のかからない距離の職場を望むほか、在宅勤務を望む人も多いと考えられる。仕事探しの理由に感染症の影響は関与していないが、求人応募の理由には影響を及ぼしているのではないだろうか。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



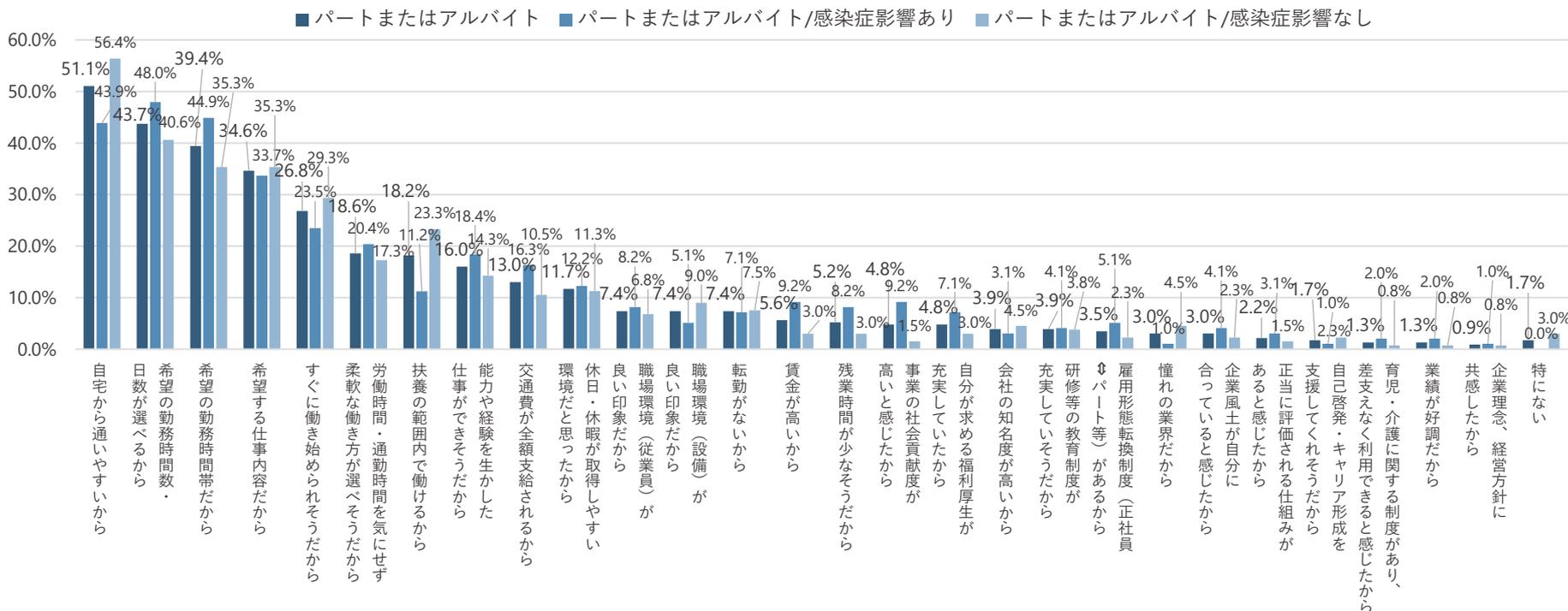
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムから求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で51.1%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が43.7%、「希望の勤務時間帯だから」が39.4%となった。

仕事探しにおける新型コロナウイルスの影響の有無（P4参照）について、「感染症影響あり」の人は「感染症影響なし」の人よりも「希望の勤務時間帯だから」が9.6pt、「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が7.7pt、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が7.4ptが高くなった。希望の時間帯や日数を優先するのはパート・アルバイトを希望する場合の特徴でもあるが、加えて感染症の影響で社会情勢が急激に変わったこともあり、身近なサービスや企業のスタンスに注目する人が増えたのではと考えられる。

「感染症影響なし」の人は、「感染症影響あり」の人よりも「自宅から通いやすいから」が12.5pt、「扶養の範囲内で働けるから」が12.1pt高かった。「感染症影響なし」の人では、希望の雇用形態選択理由でも「扶養の範囲内で働けるから」がより選ばれている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムから求人に応募した人に、応募企業から初回の連絡がくるまでどのくらいの期間待っているかをきいた。

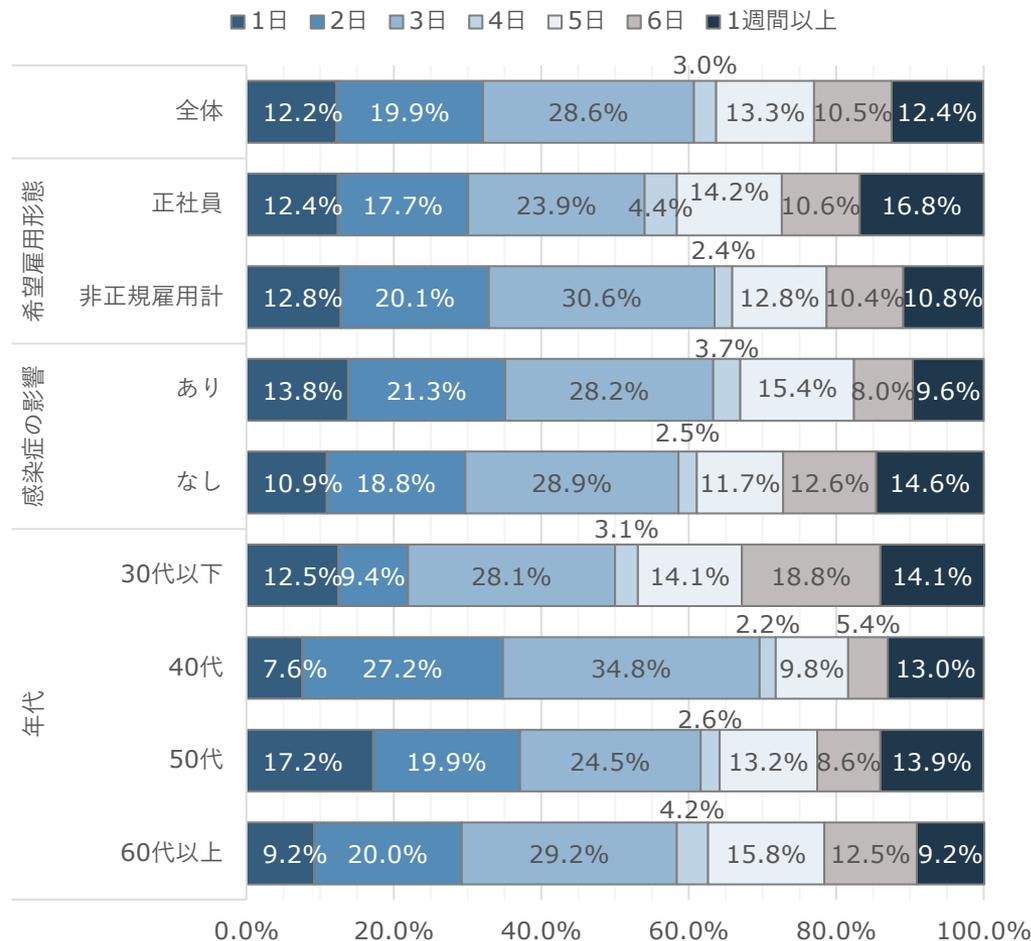
全体で最も多かったのは「3日」の28.6%、次いで「2日」の19.9%、「5日」の13.3%となった。3日以内と回答した割合は6割を超えた。一方で「4日」は3.0%と他の日数より極端に少数だった。

希望雇用形態別にみると、非正規雇用計（パートまたはアルバイト、契約社員または嘱託社員、派遣社員の計）では3日以内の割合が正社員より多くなっている。

感染症の影響の有無別にみると、「1週間以上」を選んだ割合に5ptの差があり、「感染症影響なし」の人の方が長期間応答を待っている割合が多い。

年代別にみると、「30代以下」では「6日」が18.8%、「1週間以上」が14.1%で、他の年代よりも高かった。「40代」では3日以内を選択する人が約7割で、急ぎ応答を待っている人が多い。「50代」では「1日」を選んだ人が17.2%で、他の年代と比べると多いが、日数の偏りはあまりみられない。

求人に応募した後、企業から折り返しの選考連絡が来るまで、どのくらいの期間なら待てますか？



応募から内定が出るまでの想定期間

イーアイデムから求人に応募した人に、応募から内定がもらえるまでの期間はどのくらいを想定しているのかをきいた。

全体では、「4日～1週間以内」が45.4%と約半数となり、次いで「1週間超～2週間以内」の26.5%、「3日以内」の18.3%となった。応募から1週間後には内定が出ていると想定している人が6割超となった。

希望雇用形態別にみると、「非正規雇用計」では半数を超える52.1%が「4日～1週間以内」と回答した。2週間以上かかると見込んでいる人は少なく、「2週間超～1ヵ月以内」「1ヵ月以上～2ヵ月以内」「2ヵ月を超える」を合わせても5.5%だった。

感染症の影響の有無別では、大きな差はみられなかったものの、「感染症影響あり」の方がより短い期間を想定しているようで、「2ヵ月を超える」想定をしている人はいなかった。

年代別にみると、「60代以上」では「3日以内」と回答した人が22.5%で、他の年代より短い期間で内定を得ると想定している割合が多い。2週間を超える想定をしている人は少なく、5.8%だった。50代以下をみると、1ヵ月以内に内定を得る想定をしている割合は約9割で同程度となった。

求人に応募してから内定が出るまで、どのくらいの期間を想定していますか？

